



一関出張所管内工事紹介 [第2弾]

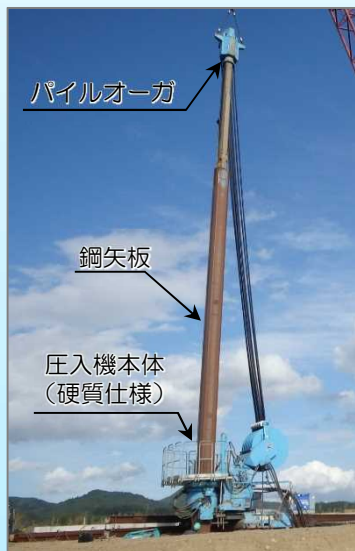
一関遊水地第1遊水地 管理堤築堤外工事



施工業者	鈴木工材(株)
現場代理人	岩淵一生
現場代理人 一言	地域の皆様のご協力に感謝し、無事故・無災害で工事を完成出来るように頑張ります！！
工事の目的	大林水門周辺(上流側)の築堤・護岸を施工する工事です。
工期	令和2年7月29日～ 令和3年3月15日
主な施工内容	掘削工・盛土工・矢板工 護岸工・護床工



～矢板護岸工を行っています～



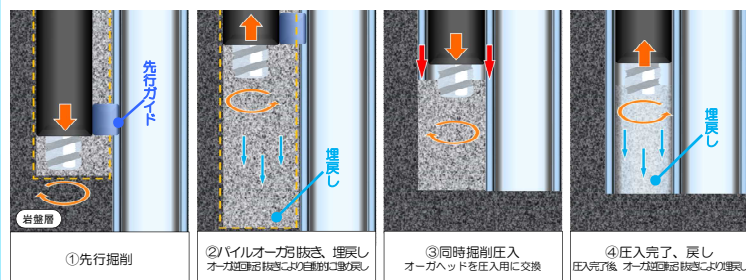
本工事では、遮水鋼矢板を設置するために硬質地盤クリア工法により施工しています。

硬質地盤クリア工法とは

一般的な方法では施工が困難な硬い地盤への鋼矢板圧入を可能にする工法です。

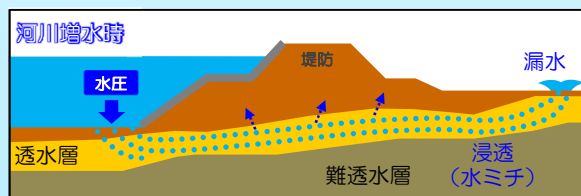
本工法は、パイルオーガ(ドリル)により掘削を行うオーガ掘削と矢板を押し込む圧入を一連で行うことができる技術です。先行掘削として一旦硬い地盤をパイルオーガで掘削後、再掘削と鋼矢板圧入を一体で行うことによって、所定の深さに鋼矢板を埋めることができます。

イメージ図

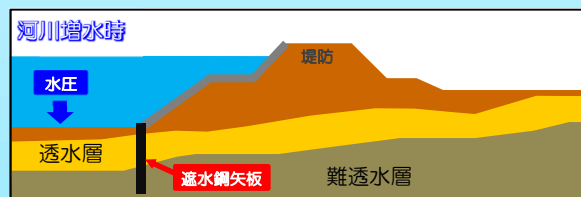


遮水鋼矢板の目的と効果

堤防基礎地盤の遮水効果を目的として、鋼矢板を旧河道部へ設置して遮水壁を構築します。鋼矢板を難透水層まで打込んで連続した遮水壁をつくる事により、透水層(水ミチ)から河川水が浸透することを確実に遮断します。これにより、北上川の河川水位が上昇しても堤防の内側へ河川水は容易に浸透せず漏水防止のほか、堤防内の水圧上昇も抑えられ決壊(破堤)しにくい堤防となります。



イメージ図



イメージ図

編集後記

降雪予報がでるようになりましたね。今年の東北は平均並の寒さだそうです。路面凍結は雪が降らずとも起こりますので、運転時はスリップに気をつけましょう☹️(す)